

金沢大学で脳腫瘍の手術を受けた患者さんへ

脳腫瘍のなかには嚢胞（のうほう）を形成する嚢胞性腫瘍（血管芽腫、毛様細胞性星細胞腫、上皮腫や転移性脳腫瘍など）があります。嚢胞性脳腫瘍の治療の一つとして開頭手術があります。しかし、嚢胞性脳腫瘍はなぜ嚢胞が形成されるのか、その機序は十分に解明されていません。我々は嚢胞液の性質が血漿成分と類似しているという報告から、血管透過性に関わる血管壁細胞が嚢胞形成に関与していると考えました。そこで、私たちは、まずMRIを用いて嚢胞の大きさ、嚢胞の数、嚢胞壁の性状（厚み、整不整、MRI信号強度、造影効果の有無）、周囲浮腫を調べることにしました（研究1）。次いで、嚢胞性脳腫瘍のPDGF-BB/PDGFR- β などの血管壁細胞の増殖や遊走に関わる分子を調べ、嚢胞をつくる腫瘍とつくらない腫瘍の違いを調べることにしました（研究2）。本研究結果は、嚢胞をつくる脳腫瘍の基礎研究および嚢胞を制御する薬物的治療開発を行うために極めて意義あるものとなると考えています。

なお、この研究は、金沢大学医学倫理審査委員会の審査を受け、医薬保健研究域長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

研究の対象は2010年1月から2021年12月までの間に金沢大学で脳腫瘍の手術を施行された方

2. 研究の目的について

研究課題名：嚢胞性腫瘍における嚢胞形成機序の解明

本研究では、嚢胞性脳腫瘍の嚢胞形成において血管壁細胞の生物学的役割を明らかにし、嚢胞形成の機序を解明することを目的としています。

3. 研究の方法について

本研究1では、嚢胞性脳腫瘍の画像評価を行います。術前のMRIで嚢胞の大きさや数、嚢胞壁の性状や周囲の浮腫について調べます。また術後のMRIで、嚢胞壁が取り切れているか、嚢胞壁から腫瘍が再発していないか調べます。

また、研究2では嚢胞性脳腫瘍の組織を用いた実験を行います。本研究は通常の手術の際に採取され、すでに保存されている腫瘍の組織を用い、実験室でPDGF-BB/PDGFR- β などの血管壁細胞の増殖や遊走に関わる分子の発現や血管壁細胞の数を調べます。

収集したデータと解析結果は学会や論文、公的刊行物などに発表されますが、個人情報公表されることは一切ありません。

4. 研究期間

この研究の期間は、承認日2022年 月 日から2026年12月31日までです。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

【研究1】

情報：

・嚢胞の大きさ、数、嚢胞壁の性状、周囲の浮腫

例：診療時のデータを利用する場合の揭示文書（2017.4.）

- ・術後嚢胞壁の残存有無，嚢胞壁からの再発所見
- ・MRIデータ

【研究2】

情報：

- ・腫瘍細胞の血管壁細胞の増殖や遊走に関わる分子の発現に関する情報
- ・腫瘍の血管壁細胞数
- ・嚢胞の大きさなど腫瘍の画像評価
- ・無増悪生存期間

試料：

- ・通常の手術の際に病理診断目的で採取された組織のうち，余剰として保存されている腫瘍の組織

6．外部への試料・情報の提供・公表

収集されたデータは学会や論文，公的刊行物などに発表されます。

7．予想される利益と不利益について

この研究は通常の診療範囲内で撮影したMRI，およびすでに採取された腫瘍の細胞と予後に関する情報を用いた研究であり，この研究に参加してもあなたに直接の利益はありません。また，不利益もありません。しかし，個人情報の流出の可能性が全くないわけではありません。データの取扱いについては，外部に漏れることが無いよう細心の注意を払います。

8．プライバシーの保護について

この研究はすでに得られている情報を用いるため，新たに個人情報を扱うことはありません。なお，診療記録より得た情報については，これまで実施してきたのと同様，研究に用いる情報に対応する番号をつけた一覧表を作り，データの調査には個人情報の含まれない対応番号のみを使います。また，これらの情報は鍵のかかる机に保管し，個人情報が流出することがないように，細心の注意を払います。また，この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがありますが，患者個人情報などが公表されることは一切ありません。

9．研究参加に伴う費用の負担や通院について

この研究に参加することによる費用等の負担はありません。

10．研究組織

研究責任者：金沢大学 脳神経外科学 教授 中田 光俊

研究分担者：金沢大学 リハビリテーション科学領域 助教 中嶋 理帆

11．研究への不参加の自由について

例：診療時のデータを利用する場合の揭示文書（2017.4.）

あなたの試料や情報が当該研究に用いられることについて、ご本人・御家族・代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、この研究に参加したくない方がいらっしゃいましたら、下記の問い合わせ先までお申出ください。その場合、試料や情報を研究に供することはありません。なお、匿名化後や研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

1 2．研究に関する窓口

この研究の内容について、わからない言葉や、疑問、質問、自分がこの対象の対象になるかなど、更に詳細な情報をお知りになりたい場合は、ご遠慮なくいつでもお尋ねください。

研究機関の名称：金沢大学医薬保健研究域医学系

研究責任者：中田 光俊（金沢大学医薬保健研究域医学系教授）

問合せ窓口：中田 光俊（金沢大学医薬保健研究域医学系教授）

住所：金沢市宝町13-1

電話：Tel: 076-265-2384 Fax: 076-234-4262